

# ⑤ 室生古道 佛隆寺・西光寺・室生寺コース



## 宇陀市ハイキングマップ

### 佛隆寺 - 唐戸峠 - 西光寺 - 室生寺 (約 7.7 km)

伊勢本街道から分岐し、室生寺の南門とされる佛隆寺より峠を越えて室生古道を室生の里へ歩くコース。特に桜の時期や彼岸花の秋がおすすめ。

#### 高井の千本杉

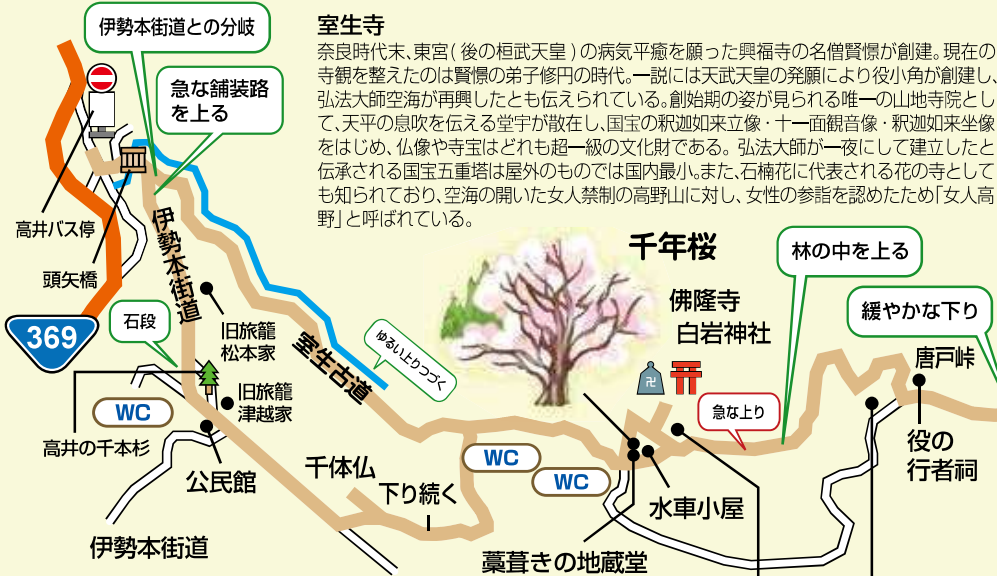
千本杉はオモテスギと言われる吉野杉、根幹は16本の杉が集まって1株ようになっており、根回り35mに及び巨木。株元には古い井戸があり、杉が自然に水を集める作用を利用した日本最古の井戸杉ではないかと推定されている。この杉は空海が室生山へ登った際にこの場所で弁当を食べ、その箸を地にさしたところ生育したという逸話があり、地元では霊木として崇めている。

#### 唐戸峠

伊勢本街道から分岐し、室生寺の南門とされる佛隆寺から室生古道を登れば唐戸峠…峠から舗装道を少し下った地点からは宇陀方面の展望がよく開け、幻想的な山並みは太古のロマンを感じさせてくれる。峠には、修験道の開祖とされる役行者像が祀られている。

#### 室生寺

奈良時代末、東宮(後の桓武天皇)の病氣平癒を願った興福寺の名僧賢憬が創建。現在の寺観を整えたのは賢憬の弟子修門の時代。一説には天武天皇の発願により役小角が創建し、弘法大師空海が再興したとも伝えられている。創始期の姿が見られる唯一の山地寺院として、天平の息吹を伝える堂宇が散在し、国宝の釈迦如来立像・十一面観音像・釈迦如来坐像をはじめ、仏像や寺宝はどれも超一級の文化財である。弘法大師が一夜にして建立したと伝承される国宝五重塔は屋外のものでは国内最小。また、石楠花に代表される花の寺としても知られており、空海の開いた女人禁制の高野山に対し、女性の参詣を認めたため「女人高野」と呼ばれている。



全行程 約 7.7 km  
 高井バス停 -2.0- 佛隆寺 -0.9- 唐戸峠 -2.6-  
 腰折れ地蔵 -0.7- 西光寺 -1.5- 室生寺  
 千本杉経由は佛隆寺まで約 3 km  
 高井バス停 -0.8- 千本杉 -2.2- 佛隆寺



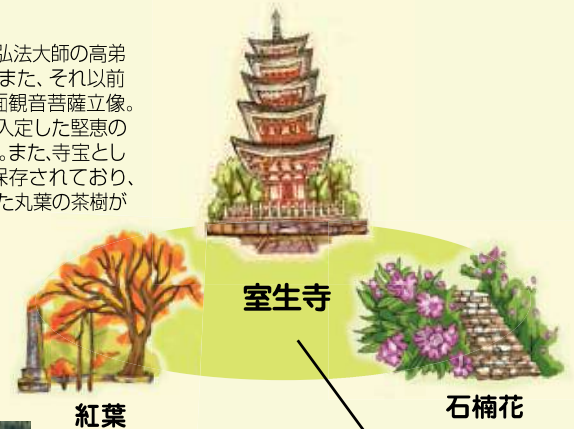
大カエデ(11月)

#### 佛隆寺

室生寺の南門と言われ、寺伝では、嘉祥 3年(850)、弘法大師の高弟堅恵が堅興経を檀主として建立したと伝えられる。また、それ以前は興福寺の修門が住んだとも言われ、本尊は十一面観音菩薩立像。宝形造りの石室(重要文化財)は、貞観9年7月5日に入定した堅恵の墓と言われ、内部には鎌倉時代の五輪塔を安置する。また、寺宝として空海が唐から持ち帰ったと伝えられる茶臼が保存されており、境内には大和茶発祥伝承地にふさわしく野生化した丸葉の茶樹が自生している。

#### 西光寺

西光寺は室生寺の西に位置する融通念仏宗の寺。境内に咲く「城之山桜」と呼ばれる枝垂れ桜は樹齢約300年で、大野寺の桜の親木だとも伝えられている。



紅葉

石楠花



佛隆寺彼岸花(9月)

カトラ新池



素晴らしい展望